

Title	ラーニング コモンズ ヲ リヨウシタ ジュギョウト ガクシュウ シエン ノ ココロミ
Author(s)	ホリ, カズナリ
Citation	
Issue Date	2010-09-16
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/14122
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

ラーニング・コモンズを利用した 授業と学習支援の試み

大阪大学 大学教育実践センター
堀 一成



Institute for Higher Education
Research and Practice



国立大学図書館協会 近畿地区セミナー 事例発表1
2010年9月16日 @大阪大学 豊中総合図書館

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 1

今回のお話では

- 大阪大学附属図書館のラーニング・コモンズを中心とする施設の紹介
- ラーニング・コモンズを使った授業や講習の事例紹介
- 大阪大学豊中キャンパスにおける、学習支援施設の紹介と使い分け



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 2

簡単な自己紹介

- 1・2年生を対象とする共通教育（教養教育）を担当する組織の教員
主な研究分野は 多言語資源・数理工学など
- 旧大阪外大では情報リテラシー教育（IT分野の意味での）やプログラミング教育を担当
- 旧大阪外大 情報処理センター長（平成16年4月～平成19年9月）
情報システムの運営や監査なども担当
- 最近、図書館利用教育など学習者中心教育の試みに仕事がシフト



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 3

大阪大学の3つの教育目標

- 教養
Critical Thinking
- デザイン力
Synthetic Imagination
& Good Sense
- 国際性
Transcultural Communicability



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 4

大学に求められる学びのあり方 の変化

旧

教員→学生の講義形式
知識の獲得
調べたことをまとめる

新

相互協調学習
（教員はサポート役）
【問題発見法・学ぶ方法・
学びの姿勢】の獲得
自らの考えを他人に発信

相応しい場の提供が必要！



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 5

阪大豊中キャンパスの 主な学習支援施設

- 附属図書館の閲覧室など
- ラーニング・コモンズ（附属図書館）
- スチューデント・コモンズ
（大学教育実践センター）
- カフェ カルチエ
（大学教育実践センター）



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 6

附属図書館 豊中総合図書館 閲覧室とサイレントゾーン



← 閲覧室の様子
(大声だめ、PC可)

↓ サイレントゾーン
(話だめ、PCもだめ)

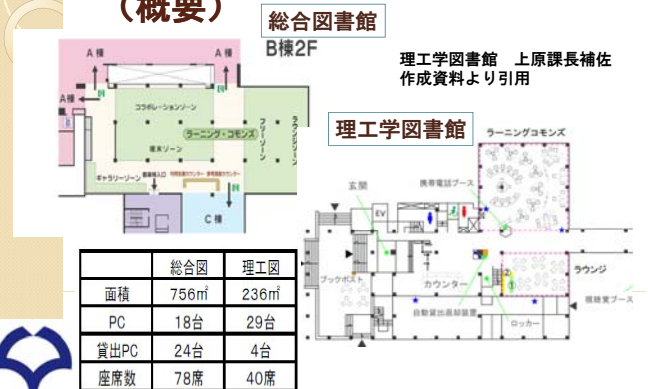


(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 7



OSAKA UNIVERSITY

本学のラーニング・commons (概要)



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 8

豊中 総合図書館 ラーニング・commons

- B棟2階に設置 (756m²)
- 4ゾーンに分かれ多様な利用を図る
- 固定PC 18台、貸出PC 24台
- 大・小のホワイトボードを使って自由にディスカッション
- 飲み物可 (自販機有)



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 9



OSAKA UNIVERSITY

ラーニング・commonsでの TAの活動

理工学図書館 上原課長補佐
作成資料より引用

- カウンターでの相談対応
- TA講習会
(オンデマンド方式図書館ツアー、データベース検索法など)
留学生TAの協力により外国語ツアーの実施もあり
- おすすめ本 (TA選書) リストの作成



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 10

ラーニング・commons活用 基礎セミナー事例

- 基礎セミナーとは？

- ☆少人数 (数人~十数人程度)
- ☆対話形式
- ☆体験的課題追求型
- ☆対象は全学部の一年生中心

のセミナー形式共通教育科目
(半年 全15回 2単位)

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 11



OSAKA UNIVERSITY

基礎セミナー

「システム開発ことはじめ」

- ウォーターフォールモデルに基づくソフトウェア開発体験 (Excelマクロ)
- 各自が考えを説明することで完成に向け考えを深める。
- 受講者は理系1年生 4名
- 受講者のコメント
「ソフトウェア開発の経験ができてよかった」
「教室と違って、見られていると緊張する」
「他の人は注目していないので、案外平気だった」



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 12

セミナーの様子



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 13



ポートフォリオシート

- 各時間に学んだことなどを学生自身がメモする
- 各時間終了後に教員が回収
チェック・コメントし次回返却
- 科目終了後は学生が持つておく

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 14



プレゼン・レスポンスシート

2009 システム開発ことはじめ

基本計画 プレゼン・レスポンスシート

プレゼン担当者	
発表の日付	
発表の良かった点、聞いてよく判った事など:	
発表でよく判らなかつたこと、改善した方が良いかなと思うこと、自分ならこうする・こう説明するなどの意見:	
意見記入者	

発表者以外が、発表を聞いて記入する。
教員がチェック後、発表者に渡す。

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 15



ラーニング・コモンズ活用 レポートの書き方講習会事例

- 本年6月の3日間開催(各90分)
- 学部一年生中心(14~17名参加)
- 一回目「まずは形から入ろう」
- 二回目「最低限のルールを守ろう」
- 三回目「よりよいレポートにするために」

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 16



講座の様子 その1



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 17



講座の様子 その2 参考図書コーナーを体験する



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 18



講座の様子 その3 サンプルレポート作成実習



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 19



受講者の感想など

- レポートのコツがわかった気がする
- 知らなかった図書館の使い方を教えてもらってよかった
- リファレンスコーナーで相談できるとは知らなかった
- 全15回の授業にしてほしい
- 「論文の書き方講座」も希望します



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 20

大学教育実践センター スチューデント・ commons の概要 (第23回日経ニューオフィス賞受賞)

- 総合図書館から歩いて2、3分
- 教育研究棟I の1階と2階
- 1階部分
カフェQuartier、開放型セミナー室
- 2階部分
マッチング型セミナー室、
セミナー室(1)・(2)、
ITヘルプデスク



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 21

スチューデント・ commons



- ← 建物外観
- ↓ マッチング型
セミナー室



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 22

カフェ カルチエ (Quartier)

- コーヒー・パン・ケーキ・サラダ・
アイスクリーム等を販売
- 自由に話したり、勉強会をしたり
- 時々自主イベントも
- ワニ博士の
ぬいぐるみ・
ストラップも
売っています



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 23



スチューデント・ commons の 運営

- 非常勤職員・学生スタッフで運営
- 利用したい学生あるいは教員が利用申し込みをすることが必要
- イベントの管理・審査は実践センターの教員中心で作る委員会が担当
- イベントは必ず責任教員が署名の上、申し込みをする



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 24

スチューデント・コモন্ズの イベント例

- 教員と語ろう
ひとこと市場
- 書評対決
ビブリオ・バトル
- イカ阪サミット
- 恋愛を語る
Love Café
- などなど



(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 25



OSAKA UNIVERSITY

学びの場 役割分担

- 図書館閲覧室・サイレントゾーン
(自分ひとりで学習、話禁止)
- 図書館ラーニング・コモন্ズ
(みんなで議論、飲み物可)
- スチューデント・コモন্ズ
(教員指導下で、議論・プレゼン型
授業、自主イベントもあり)
- カフェ カルチエ
(勉強あり・無駄話あり、食事も)



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 26

学習支援の場のありかた (図書館を含む)

- (特に大学受験以前の) 自主学習体験
の不足に配慮する
- 利用の自由とコントロールのバランス
が大事
- その場にふさわしい教育内容をよく検
討する(何でもセミナー科目にすれば
自主的学習になるわけではない)

→ FDの場で議論する必要あり?



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 27

これからも利用される 図書館であるために 1

- Google検索に負けない情報の提供を!

人(職員・教員両方)が手間を掛けた
質「付加価値」の高い情報を提供する
情報爆発時代を生き抜く力をつけてもらう

例: 図書館員おすすめ書籍情報、
パスファインダー、
実際の科目と連動した
学習法提案など



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 28

これからも利用される 図書館であるために 2

- 教員を巻き込みましょう!
忙しいと逃げる教員を捕まえましょう
FD・SDIに図書館利用教育の内容を
- 情報処理センター、教養教育実施組織、
留学生センターも巻き込みましょう!
コラボでライティングサポートなどの
イベントや予算提出を
- 学生にお節介を焼きましょう!
お勧め利用法を押し付ける位がいい
2, 3年生サポーターの活用



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 29

まとめ

- 大阪大学の学習支援施設の紹介
(ラーニング・コモন্ズを含む)
- ラーニング・コモন্ズを利用した
学生発表型セミナー講義と
レポート講習会の紹介
- 大阪大学では図書館内・外の学習支援
施設を目的に応じ使い分けている事の
紹介



OSAKA UNIVERSITY

(c) 2010 Kazunari HORI, Osaka Univ. 30